一般財団法人 日本医療教育財団

IBT 受験規約

1. 受験規約について

本規約は、一般財団法人日本医療教育財団（以下「当財団」という）が主催し、提供、配信する各種試験の受験および予約システムを含む試験配信サービス（以下「本サービス」という）を利用するにあたり、受験者が同意する必要がある規約です。

2. 試験申込みに関する事項

(1) オンライン試験

当財団が利用する IBT は、株式会社 IBT 総合研究所（以下「IBT 総研」という）が提供するオンライン試験プラットフォーム「Excert」を利用します。

(2) 試験申込みの同意

当財団の IBT の申込者および受験者は、本規約に加え、その個別規定として IBT 総研との間では「[Excert サービス利用規約](#)」および「[Excert プライバシーポリシー](#)」に同意、また、事前に「[試験実施要領](#)」、「[受験マニュアル](#)」、「[受験環境](#)」、「[Excert 受験環境テスト](#)」を確認のうえ、試験申込み手続きを行うものとします。試験申込み手続きを完了した場合は、本規約、試験実施要領、受験マニュアル、受験環境確認、Excert サービス利用規約、Excert プライバシーポリシーのすべての事項に同意したものとみなします。

(3) 受験者は、試験申込みを行う場合には、当財団が定める申込期間内に試験申込みを行い、受験料を支払うものとします。

(4) IBT での試験申込みにあたっては、当財団のホームページにて事前に使用機器や通信環境等の要件を確認し、必ず受験される PC で動作確認を行ってください。動作確認を行わず、試験当日に使用機器や通信環境の不備により受験できない場合は欠席扱いとなります。欠席に伴う、返金および振替はできません。また、推奨環境以外で受験された場合、ご利用できないまたは正しく表示されない等により試験続行不可能となります。推奨環境以外で受験され試験続行不可となった場合であっても、当財団は一切の責任を負いません。

(5) 試験申込みに対して、受験者が当財団の指示に従わない場合、または本規約に同意しない場合は、いかなる理由によっても、試験申込みを受け付けません。

(6) 受験者には、当財団から送付されるメールおよび電話を受領できる環境を有していることが求められます。受領できない、または確認を怠った等の理由で受験に支障が生じた場合であっても、当財団は一切の責任を負いません。

(7) 試験実施方式（個人受験・団体会場受験）や試験科目が異なる場合においても、同一日同時間枠の申込みをすることはできません。万一、受験者の過失により試験申込みを完了した場合においても、試験の締切前・締切後を問わず、受験できない科目については返金いたしません。

- (8) 当財団の団体受験校として認定された教育団体は団体申込みを行うことができます。団体申込みの場合、当該団体の受験者の試験申込みに関する情報や試験結果および不正行為の有無等の情報が当該団体に開示されます。
- (9) 受験にあたり、身体的な理由で特別な配慮が必要な場合には、所定の期限までに配慮申請を提出する必要があります。申請書を提出した場合であっても、審査の結果、ご希望に添えず受験をお断りする場合があります。事前に申請書を提出することなく、試験当日に特別な配慮が必要である旨を申し出た場合、特別な配慮をお断りします。

3. 受験予定の変更およびキャンセル、返金に関する事項

- (1) 受験者が試験申込みを完了後、受験を予定している日の7日前までであれば、受験者は、時間枠（試験日時）をマイページにおいて行うことができます。ただし、変更可能な日時は、変更を行う日の7日後以降となります。試験日6日前～試験日当日は、いかなる理由でも時間枠の変更はできません。
- (2) 変更可能な期間内であっても、時間枠が満席の場合は変更できません。また、締切後の時間枠の変更も一切応じられません。
- (3) 試験申込み手続き完了後の、試験申込み自体のキャンセル、返金は一切応じられません。また、受験者や試験実施方式（個人受験・団体会場受験）、試験科目の変更は一切受け付けられません。
- (4) 試験申込み（受験科目、時間枠等）の確定は受験申込者の意思によるものとみなし、以下のような場合、当財団は一切の責任を負いません。
- ① 受験科目の間違い
  - ② 時間枠の間違い
  - ③ 時間枠が重複する複数の申込（ダブルブッキング）
  - ④ 個人受験と団体会場受験の申込み

4. 受験に関する事項

- (1) 試験当日の流れ等については、当財団ホームページを参照してください。
- (2) 試験当日、試験申込み時にアップロードした本人確認書類・Excert登録内容・本人カメラ画像による本人確認を行います。本人確認がとれない場合は受験できず欠席扱いとなります。
- 【本人確認書類】運転免許証、パスポート、マイナンバーカードなど、公的証明書（原則、日本国内で発行され、有効期限内のものに限る）であって、原則として、氏名、生年月日、顔写真が揃って確認できるものとします。
- (3) 当財団が持込みを許可している物以外は持ち込むことはできません。試験官の指示に従わない場合は受験できず欠席扱いとなります。
- (4) 試験官は試験の内容に関する質問に一切お答えできません。

また、試験当日の問合せ先へ連絡した場合でも、試験の内容に関する質問には一切お答えできません。

- (5) 試験中は、飲食、喫煙、問題内容を声に出して読む、インターネットを通じて問題内容等の送受信をするなどの不正行為または不正行為と疑われる行為は禁止とし、これらが試験官によって確認された場合は失格となります。
- (6) 原則として、試験中に退席、退出、休憩を取ることはできません。受験を開始した後は、終了まで離席することはできません。終了前に離席した場合は、その時点で受験を棄権したものみなし、離席する前までの解答をもって合否判定を行います。この場合、受験料の返金には応じられません。
- (7) 受験者の故意または過失による PC のシャットダウンやログオフなどによって試験が中断された場合は、試験終了とし、中断までの解答をもって採点を行います。
- (8) 試験中に、受験と関係ないアプリケーションやソフトウェアを起動すること、ウェブサイトを参照することは禁止とし、これらの行為が確認された場合は失格となります。
- (9) 上記のほか、当財団が定める禁止事項に抵触、または抵触する行為のほう助が発覚した場合、受験の取消しや試験結果の無効、失格等の処理を行うほか、以後の受験をお断りします。
- 禁止事項の例（あくまで例のため、これに限定されません）
- ・虚偽または不正な本人確認書類を提示すること
  - ・アカウントを第三者と共有すること
  - ・第三者に不適切な支援を提供し、またはこれを受けること
  - ・種類を問わず、試験実施中に故意または重大な過失により試験運営の妨害を行うこと
  - ・受験または受験内容に不正にアクセスすること
  - ・統計的分析によって判断された不正行為
- (10) 試験が正常に行われなかった場合において、当該試験に関する経済的または精神的損害を理由として当財団に賠償の請求をすることはできません。
- (11) 所定受付時間内に入室がない（「試験開始をリクエスト」ボタンが押されない）場合は欠席扱いとなります。
- (12) 受付開始から試験終了までの間、カメラに第三者が映り込まない、かつ、マイクに受験者の声以外の音が入らないような空間で受験してください。受験前にカメラを通じて受験環境の確認を行います。受験環境が要件を満たさない場合、試験官の指示に従わない場合は受験できません。
- (13) スマートフォン・携帯電話については、受付終了後、緊急時に連絡が可能で、かつ手の届かない場所に置いて受験してください。緊急時以外に使用した場合は不正行為とみなし失格となります。
- (14) 試験中は、受験者の実施画面、操作内容、受験中の様子をリモートで監視しています。また不正が疑われる行為があった場合は録画をします。不正が疑われる行為や不正とみられる行為、事象が確認された場合は、その場で試験官がチャット（テキストメッセージ）または音声にて確認を行ったうえで失格とします。
- ・不正が疑われる行為や注意対象行為に対する是正指示を3回行っても改善しなかった場合
  - ・故意、過失を問わず、試験中に受験者のカメラ映像や受験画面の共有、マイクの音声が適切に確認でき

ない場合

- ・カメラに他の人が映り込んだ場合やマイクに他の人の声が入った場合
- ・その他受験に不要な操作を行った場合

(15) 試験中に停電や大規模な通信トラブル等、受験者の責めに帰さない事由により、試験が中断した場合はただちに試験日当日問合せ専用ダイヤルへご連絡ください。

5. 全般事項

- (1) 登録している受験者情報に変更があった場合は、ただちに当財団の指定する方法で変更の手続きを行ってください。受験後合格された方へ表示される合格証については、氏名および生年月日の変更はできません。
- (2) 本サービスにおいて利用するメールアドレスとこれに対するパスワードは、第三者に推測されづらい文字列にて設定のうえ、ご自身で責任をもって保管してください。メールアドレスとこれに対応するパスワードが盗用された場合、当財団は責任を負いません。また、試験日当日、パスワード再発行等の処理による試験受付時間（ログイン）に遅れた場合による受付時間の延長、試験日の振替等は一切行いません。
- (3) メールアドレスとこれに対応するパスワードによって行われた試験申込みは、そのアカウントに対応する受験者情報の主体であるところの受験者によってなされたものとみなし、本サービスの利用が第三者によって行われた場合も、受験者は受験料やその他の債務のすべてを負担する必要があります。
- (4) 試験問題や模範解答は、当財団が試験運営上必要と判断した場合を除き、原則として公表しません。試験問題や解答などの受験内容を口外する事は固く禁じます。いかなる手段をもってしても、第三者にこれらを伝えてはなりません。これらの禁止行為に違反した場合、合否判定の前後を問わず失格とし、以後の受験をお断りします。また受験料も返金いたしません。
- (5) 試験問題と採点の内容および合否に関するお問合せは一切お答えいたしません。
- (6) 受験者が本規約を遵守しない場合、受験者による不正行為あるいは不正行為が疑われる場合、または受験者が試験官の指示に従わない場合は、当財団は受験者の試験結果の取消し、受験の無効、失格等、厳正に対処します。その場合の受験料は返金いたしません。
- (7) 当財団は、本サービスを提供するための設備、通信回線等の保守その他工事をする場合、予めその旨を当財団が適切と判断する方法によって受験者に通知し、必要な範囲内で本サービスを一時停止することができます。ただし、緊急の場合、受験者への事前の通知ができない可能性があります。
- (8) 天災地変（地震、津波、洪水、台風、火山噴火、感染症、伝染病など）、社会的事変（戦争、暴動、内乱、テロなど）、争議行為（ストライキ、ボイコットなど）、法令の改廃制定、公権力による命令、処分、火災、当財団が準備する情報処理施設以外の通信回線の障害等により、当財団の責めによらず、本サービスの提供が中断される場合、当財団は免責されます。

6. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 受験者の個人情報「Excert プライバシーポリシー」に則り、安全かつ厳重に管理いたします。
- (2) 団体受験の場合、団体申込責任者が団体に所属する受験者の試験結果を確認することができます。
- (3) 団体受験校（教育機関等）専用の試験申込サイトから申込みされた方の場合、団体受験校（教育機関等）の責任者が試験結果を確認することができます。
- (4) 当財団が実施する各種試験 IBT のお申込みによって取得された個人情報（メールアドレス、氏名、生年月日、住所、電話番号等、試験申込時に入力・申請された情報および、試験結果等）は、当該試験に関する各種連絡（メール等）および各種情報提供、合格証明書の発行等、各種試験の目的遂行に必要な範囲内で使用します。

7. 受験規約の変更に関する事項

- (1) 当財団は、状況により本規約を変更することがあります。

2025 年 1 月 31 日改定